

《農地の維持と新規就農者定着・生産能力を向上させる地域活性化プロジェクト》

市町村	河北町	対象地域	溝延地区	分野	土地利用型作物（水稻・大豆）
実施主体名	牧野聡	代表者氏名	牧野聡	住所又は主たる事務所の所在地・連絡先	河北町
実施主体構成	個人				

プロジェクト目標（5年後）	産出額（増加額）	20,960千円（10,480千円）					
	独自の目標項目	穀物保管用冷蔵庫を導入することにより、生産能力を向上させ借地・作業受託面積の増加に対応する。同時に研修生雇用を通じて地域担い手の増加に努める。最終年には耕作面積で 190% 販売額で 200% の増加額を目指す。					
各年次目標	現 状	1年目（H22）	2年目（H23）	3年目（H24）	4年目（H25）	最終年（H26）	
	産出額	10,480千円	12,250千円	13,930千円	16,240千円	18,350千円	20,960千円
	独自の目標項目	水稻650a 大豆500a	760a 550a	900a 610a	1,050a 680a	1,200a 750a	1,400a 820a
プロジェクト概要	◎実施方針	地域の担い手不足解消と研修生雇用による独立支援及び増加する農作業受託等に合理的に対応した生産能力の向上。					
	○産出額の増大	生産能力の向上と、耕作面積の増加による農業機械の合理的使用により産出額の増大を図る。また、研修生の受け入れと乾燥調整施設の導入により、米および大豆両方の乾燥が可能となり、コストの削減ができる。その他に各種イベントへ積極的に参加して対面販売による直接販売で販売単価の向上を目指す。					
	○雇用の創出	H23に常時雇用1名、研修生雇用1名を予定。その他に農繁期に農業大学等からのパート雇用に平成24年から平成26年まで1名ずつ増やしていく予定。（425人日/年の増）					
	○創意工夫	農業研修生の技術を向上させ、習得させることにより、農業研修生の独立へのステップとなり、かつ地域の高齢化による担い手不足解消を両立させる。					
	○実現性	地域の高齢化・水田面積と現状の担い手数を考慮すると、数年後には新規就農者の創出と生産能力の向上は急務となる。また、農業委員会や農地利用改善団体との連携することで、耕作放棄地の未然防止効果が図られる。					
	○地域への波及効果	集落営農組織以外での農地の集積や集落農地の安全性を維持する方向性として、将来の地域における農業経営のモデル事業となりえる。					
	○その他	乾燥設備のラインが大豆乾燥調整としても活用できるため、コスト低減と転作規模拡大にも対応できる。					

事業計画		実施年度（平成22年度）	実施年度（平成23年度）
	事業内容	穀物保管用冷蔵庫購入・フォークリフト購入	乾燥調整作業小屋増築・乾燥機購入及び付随設備設置工事